英文法 L01 第 26 講 受動態の基本

学習目標

動作を受ける対象を主語にする受動態の基本形を選ぶことができる。

1. 受動態とは何か

受動態

受動態とは、動作を受ける人や物を主語にして、「〜される」「〜された」と表す文の形である。
これに対し、動作をする人や物を主語にして「〜する」「〜した」と表す文の形を**能動態**という。

同じ出来事を、2 つの視点から見る

エマが椅子を塗った場面を考えよう。エマの行動を中心に述べることも、塗られた椅子を中心に述べることもできる。

Pair 1

Emma painted the chair.

エマはその椅子を塗った。

Pair 2

The chair was painted by Emma.

その椅子はエマによって塗られた。

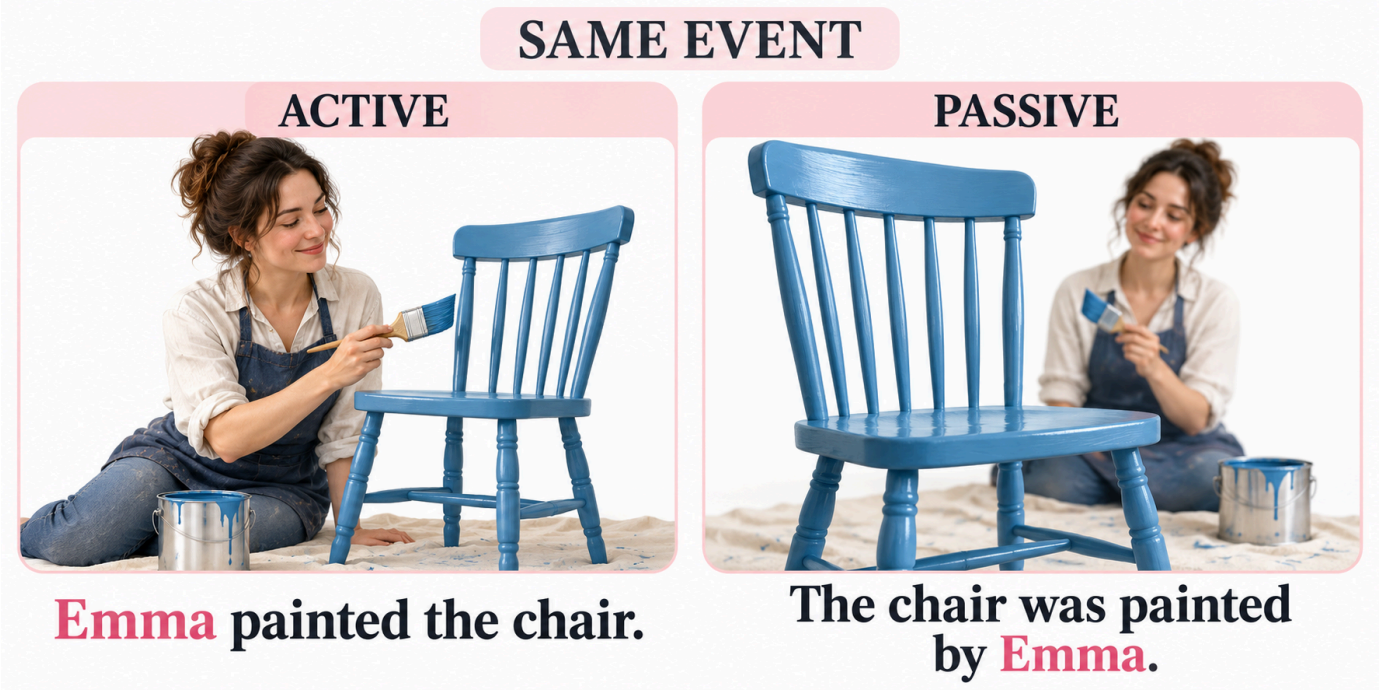


図 1　同じ出来事を、誰から述べるか

図の ACTIVE は「能動態」、PASSIVE は「受動態」、SAME EVENT は「同じ出来事」を意味する。2 つの英文は、どちらもエマが椅子を塗った出来事を表している。ただし、主語が異なる。

比較する部分	能動態	受動態
主語	Emma（動作をする人）	The chair（動作を受ける物）
動詞の部分	painted	was painted
残りの部分	the chair（動作の対象）	by Emma（動作をする人）
注目するもの	誰が塗ったか	何が塗られたか

能動態では、エマが主語であり、椅子は動作の対象である。受動態では、その椅子が主語になる。

主語が変わっても、実際に起こった出来事は変わらない。

椅子がエマを塗ったわけではなく、エマが椅子を塗ったという関係はそのままである。変わるのは、どちらを中心に述べるかという視点だ。

2. 受動態の基本形

受動態の形

受動態の基本形は、次のとおりである。

主語（動作を受ける対象）＋be 動詞＋過去分詞

動作をした人を示す場合は、後ろに **by＋行為者** を続ける。

過去分詞は動詞の変化形の一つであり、受動態では be 動詞の後ろに置く。

能動態から受動態への変え方

先ほどの椅子の例では、次の順序で考える。

1. 能動態で動作を受けている対象を確認する。ここでは、椅子がその対象である。
2. その対象を受動態の主語にする。
3. 主語と時制に合う be 動詞を置き、動詞を過去分詞にする。
4. 誰が行ったかも示したい場合は、by の後ろに行為者を置く。

この変換ができるのは、基本的には目的語を直接とる他動詞の文である。目的語とは、動作の対象を表す語句のことだ。

目的語を直接とらない自動詞の用法に、同じ変換方法をそのまま当てはめることはできない。

be 動詞は主語と時制で決まる

受動態では、be 動詞を主語の人称・数と時制に合わせる。

時制	主語	be 動詞
現在	I	am
現在	he / she / it、単数名詞	is
現在	you / we / they、複数名詞	are
過去	I / he / she / it、単数名詞	was
過去	you / we / they、複数名詞	were

現在のことを表す場合は am・is・are、過去のことを表す場合は was・were を使う。

過去分詞そのものが過去時制を表すわけではない。**現在か過去かは、be 動詞の形で判断する。**

次の例文を確認しよう。

Pair 1

The rooms are cleaned every morning.

それらの部屋は毎朝掃除される。

Pair 2

The classroom was cleaned yesterday.

その教室は昨日掃除された。

最初の文では、複数の部屋を主語とする現在の習慣なので are を使う。次の文では、単数の教室について過去の出来事を述べているので was を使う。

どちらも cleaned という過去分詞を使っているが、be 動詞が異なるため時制も異なる。

過去分詞の形を確認する

受動態を作るには、動詞の過去分詞を知っておく必要がある。

原形	過去形	過去分詞
paint（塗る）	painted	painted
clean（掃除する）	cleaned	cleaned
open（開ける）	opened	opened
repair（修理する）	repaired	repaired
write（書く）	wrote	written
make（作る）	made	made
build（建てる）	built	built

paint や clean のように、過去形と過去分詞が同じ動詞もある。一方、write のように、過去形と過去分詞が異なる動詞もある。

受動態では、どの場合も過去分詞を使う。過去の出来事だからといって、be 動詞の後ろに過去形をそのまま置くわけではない。

3. by はいつ必要か

行為者を示す by

受動態で「誰によって行われたか」を示したいときは、**by＋行為者** を使う。

ただし、すべての受動態に by が必要なわけではない。誰が行ったかを伝える必要がなければ、by 以下を省略できる。

先ほどの教室の例も、誰が掃除したかを示さずに成立している。

受動態を作るときは、まず「何が動作を受けたか」を確認する。そのうえで、行為者を示す必要があるかを判断する。

受動態で間違えやすい点

受動態の主語は、もとの文で動作を受けていた対象である。動作をする人と動作を受ける対象の役割が逆転するわけではない。

また、be 動詞と過去分詞は両方必要だ。be 動詞の一致を確認するだけでなく、その後ろが過去分詞になっているかも確かめよう。

by 以下がない受動態も正しい場合がある。「受動態だから必ず by を付ける」とは考えない。

4. 例題

1

次の能動態を、出来事と過去時制を保った受動態にする。空所に入る最も適切なものを選べ。

The workers built the bridge last year.

The bridge (　　) by the workers last year.

A. is built

B. was built

C. were built

D. was build

解答・解説

正解：B

まず、能動態の目的語である the bridge が、受動態の主語になる。

次に、last year から過去の出来事だと分かる。the bridge は単数なので、be 動詞は was を使う。

最後に、build の過去分詞 built を続ければ、was built という受動態が完成する。

Pair 1

The workers built the bridge last year.

労働者たちは昨年その橋を建てた。

Pair 2

The bridge was built by the workers last year.

その橋は昨年、労働者たちによって建てられた。

A. is built は現在形の受動態である。last year が示す過去の時点に合わない。

B. was built は単数主語に対応する過去形の be 動詞と、build の過去分詞を組み合わせている。指定された意味と時制に合う。

C. were built は過去形の受動態だが、were はこの場合、単数主語 the bridge に合わない。

D. was build は be 動詞の後ろに原形 build を置いている。受動態では過去分詞 built が必要である。

©ミライコーチング

2

エマが壁を塗った行為者であることを、受動態の文で明示したい。空所に入る最も適切なものを選べ。

The wall was painted (　　) yesterday.

A. for Emma

B. with Emma

C. to Emma

D. by Emma

解答・解説

正解：D

文の主語は the wall で、was painted によって「壁が塗られた」という過去の受動態になっている。

今回の条件は、塗った行為者がエマであることを明示することだ。受動態で行為者を表すには by を使う。

Pair 1

The wall was painted by Emma yesterday.

その壁は昨日、エマによって塗られた。

A. for Emma は「エマのために」という意味を表し得るが、エマが塗ったという行為者の指定にはならない。

B. with Emma は「エマと一緒に」という意味を表し得るが、受動態で行為者を示す by Emma とは働きが異なる。

C. to Emma の to は方向や到達先などを表すが、この文で塗った行為者を示す表現にはならない。

D. by Emma は「エマによって」という意味で、行為者を明示する条件に合う。

なお、行為者を伝える必要がない文脈では、by 以下を付けずに受動態を使うこともできる。

©ミライコーチング

5. 演習問題

受動態の形を選ぶ

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。

The door (　　) by Ken yesterday.

A. is opened

B. was opened

C. were opened

D. was opening

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。

These desks (　　) by the staff every morning.

A. are cleaned

B. is cleaned

C. are cleaning

D. cleaned

3

次の英文の空所に入る最も適切なものを選べ。

The letter (　　) by Aya last night.

A. was wrote

B. is written

C. was written

D. were written

4

今も続いている、おもちゃの製造について述べる。空所に入る最も適切なものを選べ。

The toys (　　) in this factory every day.

A. is made

B. are make

C. are making

D. are made

©ミライコーチング

受動態の意味を判断する

5

次の英文が表す出来事として、最も適切なものを選べ。

The bike was repaired by Leo yesterday.

A. レオは昨日、自転車に修理された。

B. レオは昨日、その自転車を修理した。

C. その自転車は昨日、レオを修理した。

D. その自転車は明日、レオによって修理される。

6

次の英文が表す出来事として、最も適切なものを選べ。

The cakes were made by Sara this morning.

A. サラが今朝、そのケーキを作った。

B. そのケーキが今朝、サラを作った。

C. サラは明日の朝、そのケーキを作る。

D. サラは今朝、そのケーキを買った。

7

次の英文から確実に読み取れる内容を選べ。

The windows were cleaned yesterday.

A. その窓は昨日、ミカによって掃除された。

B. その窓は昨日、掃除されなかった。

C. その窓は昨日、掃除された。

D. その窓は明日、掃除される。

8

次の英文が表す意味として、最も適切なものを選べ。

The picture was painted by Nina.

A. その絵がニナを描いた。

B. ニナがその絵の持ち主である。

C. ニナはその絵をこれから描く。

D. その絵はニナによって描かれた。

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解：B

yesterday があるため、過去形の受動態が必要である。主語 the door は単数なので was を使い、open の過去分詞 opened を続ける。

Pair 1

The door was opened by Ken yesterday.

そのドアは昨日、ケンによって開けられた。

A. is opened は現在形の受動態であり、yesterday という過去の時点に合わない。

B. was opened は過去形の be 動詞 was と過去分詞 opened を組み合わせており、正しい。

C. were opened は複数主語などに対応する形で、単数主語 the door に合わない。

D. was opening は be 動詞と現在分詞を組み合わせた形であり、受動態の be＋過去分詞になっていない。後ろの by Ken とも、この文で必要な受動態の関係を作れない。

2

正解：A

主語 These desks は複数形である。every morning は毎朝の習慣を示しているため、現在形の受動態 are cleaned を使う。

Pair 1

These desks are cleaned by the staff every morning.

これらの机は毎朝、職員によって掃除される。

A. are cleaned は複数主語に合う are と過去分詞 cleaned を使った現在形の受動態であり、正しい。

B. is cleaned は単数主語に対応する is を使っており、These desks と一致しない。

C. are cleaning は進行形の形であり、「机が掃除される」という受動態にはならない。

D. cleaned だけでは受動態に必要な be 動詞がない。過去分詞だけでこの文の受動態を作ることはできない。

3

正解：C

last night から過去の出来事だと判断する。主語 the letter は単数なので was を使い、write の過去分詞 written を続ける。

Pair 1

The letter was written by Aya last night.

その手紙は昨夜、アヤによって書かれた。

A. was wrote は過去形の be 動詞の後ろに、write の過去形 wrote を置いている。受動態には過去分詞 written が必要である。

B. is written は現在形の受動態であり、last night という過去の時点に合わない。

C. was written は単数主語に合う過去形の be 動詞と過去分詞を使っており、正しい。

D. were written は過去形の受動態だが、were が単数主語 the letter に合わない。

4

正解：D

主語 The toys は複数形である。また、設問では今も続く製造の習慣を述べるよう指定されている。したがって、現在形の受動態 are made が適切である。

Pair 1

The toys are made in this factory every day.

そのおもちゃは、この工場で毎日作られる。

A. is made は単数主語に対応する is を使っており、The toys に合わない。

B. are make は be 動詞の後ろに原形 make を置いている。受動態では過去分詞 made が必要である。

C. are making は進行形の形であり、「おもちゃが作られる」という受動態の意味にならない。

D. are made は複数主語に合う are と過去分詞 made を使っており、正しい。

5

正解：B

Pair 1

The bike was repaired by Leo yesterday.

その自転車は昨日、レオによって修理された。

受動態の主語 The bike は、修理する側ではなく、修理される側である。by Leo は修理した人を示している。

A. レオが自転車に修理されたという意味になっている。動作をする側と受ける側が逆である。

B. レオが昨日その自転車を修理したという意味で、英文と同じ出来事を表している。正しい。

C. 自転車がレオを修理したという意味になっている。動作をする側と受ける側が逆である。

D. 修理される時点を明日としている。英文の yesterday は「昨日」なので一致しない。

6

正解：A

Pair 1

The cakes were made by Sara this morning.

そのケーキは今朝、サラによって作られた。

主語 The cakes は作られた対象であり、by Sara は作った人を示す。また、were made は過去形の受動態である。

A. サラが今朝ケーキを作ったという意味で、英文と一致する。正しい。

B. ケーキがサラを作ったという意味になっており、動作をする側と受ける側が逆である。

C. ケーキを作る時点を明日の朝としている。英文は this morning を用いて、今朝起こった出来事を表しているため、一致しない。

D. サラがケーキを買ったという意味になっている。made は make の過去分詞であり、were made は「作られた」を表す。「買った」という意味ではない。

7

正解：C

Pair 1

The windows were cleaned yesterday.

その窓は昨日、掃除された。
主語 The windows は掃除された対象であり、were cleaned は過去形の受動態である。

この文には by 以下がないため、誰が掃除したかは示されていない。

A. 掃除した人をミカと特定している。しかし、英文からその情報は読み取れない。

B. 掃除されなかったという否定の意味になっている。英文は肯定文なので一致しない。

C. 窓が昨日掃除されたという内容で、英文から確実に読み取れる。正しい。

D. 掃除される時点を明日としている。英文は yesterday という過去の時点を示しているため、一致しない。

by 以下がなくても、この英文は受動態として成立している。

8

正解：D

Pair 1

The picture was painted by Nina.

その絵はニナによって描かれた。
主語 The picture は動作を受ける対象である。was painted が過去の受動態を表し、by Nina が描いた人を示している。

A. 絵がニナを描いたという意味になっている。動作をする側と受ける側が逆である。

B. ニナが絵の持ち主であるという意味だが、by Nina は行為者を示しており、所有者を示しているわけではない。

C. これから絵を描くという未来の意味になっている。英文の was painted は過去の受動態なので一致しない。

D. その絵がニナによって描かれたという意味で、英文と一致する。正しい。